

2010 East Asian Conference on Volleyball Sciences in Taiwan

2010 東アジア バレーボール科学会議

開催要項

[開催の意義及び目的]

1996年にゼロからのスタートを切った日本バレーボール学会でしたが、この15年で各役員、学会会員のご尽力の結果、学会としての基礎作りの期間は終了し、いよいよ拡充期に入る段階に至ったと考えています。

今後は本学会の活動をますます充実したものにすることにより、日本のバレーボール界に貢献できるさらなる知見を提供することはもちろんのこと、国際的にもバレーボールに関わる情報交換、交流の場を広げる機会を増やすことが本学会の使命の一つと考えています。

そこで、今回は台湾バレーボール関係者の協力を得る中で、まずは台湾や韓国・中国といった東アジアのバレーボール関係者との国際交流や学会の輪の国際化の試みを積極的に推進していくことを企画しました。

枋堀申二初代日本バレーボール学会会長が、ニュースレター第1号(1996年10月)で次のように記していることを改めて再確認します。「国内での高まりとまとまりが出来たなら、アジアの研究者達にも声をかけていきます。北京でも西安でも台湾でも私共の研究会に関心を示してくれる人達に会いました。いずれは世界のバレーボール愛好者達にも仲間に入っていたきたいと感じています。」

2010年6月吉日

日本バレーボール学会 会長 遠藤俊郎

1. 会 期： 2010年8月23日(月)～25日(水)

2. 会 場： 台湾 国立東華大学 (<http://www.ndhu.edu.tw/zh/main.php>)

花蓮 (Hualien: ホアリエン) 市街の南西

3. 行 動： 8月23日(月) 午前 成田発 → 台北着
午後 台北発 → 花蓮着(花蓮泊)
8月24日(火) 終日 バレーボールミーティング

※(ミーティング要項参照)

夜 懇親会(花蓮泊)
8月25日(水) 午前 花蓮発 → 台北着
午後 台北発 → 成田着

※詳細な行動計画は現在作成中

4. 参加申し込み方法：

参加を希望する会員は、6月30日（水）までに日本バレーボール学会総務委員長（田中博史）宛に必要な事項をメールで送付すること（宛先：tanakah@olive.ocn.ne.jp）

- 1) 氏名（ふりがな）
- 2) 所属機関名
- 3) 自宅住所
- 4) 電話番号
- 5) メールアドレス
- 6) 研究発表の有無（発表する場合には発表方法を別途指示する）

5. 参加費用： ミーティングへの参加費は無料

ただし、移動・宿泊・飲食に関わる費用は自己負担とする

6. 同行責任者： 日本バレーボール学会会長 遠藤俊郎（大東文化大学）

通 訳： 筑波大学院人間総合科学研究科体育科学専攻生 童安佚（ドウ アンイ）

【ミーティング要領】（状況により若干の変更はある）

8月24日（火）

9：30～ 開会（会長挨拶、台湾代表挨拶）

9：45～ 参加者紹介

10：00～ 研究発表

- ・形式はポスター発表とする
- ・フリーディスカッション
- ・英語でのディスカッションを基本とするが、通訳を介することも可能
- ・4～5題の発表を予定
- ・台湾の発表については未定

（演題数によっては午後にも発表のセッションを設ける可能性あり）

12：00～ 昼食

13：00～ 国立東華大学の施設見学

※空き時間によっては花蓮市内観光

18：00～ 懇親会（大学近くのレストラン）

以上